



新年号

発行所  
水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館内  
公益財団法人茨城県消防協会  
編集発行人  
消防協会長 葉梨 衛  
印刷所  
（南堀口印刷）  
1部 15円  
（購読料は負担金に含まれています）



年頭に寄せて

公益財団法人茨城県消防協会

会長 葉梨 衛

平成三十一年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んでご祝辞を申し上げます。

消防団員・消防職員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務に精励されておりますことに対し、心からの敬意と感謝の意を表するものであります。

また、消防関係諸団体の皆様方には、消防防災に対する深いご理解のもと、熱心にご活動されていることに対し、深甚なる敬意を表する次第であります。

我が国の消防は、戦後、地域に密着した自治体消防として発足し、先人の皆様方の並々ならぬご努力によりまして、組織・設備の両面において着々と充実強化されておりますことは、誠に同慶の至りでございます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応等広範囲にわたり、さまざまな場面で地域住民の安全・安心確保に大きな役割を果たしているところでございます。

さて、今年は五月から新元号になり新たな時代を迎えます。この平成の三十年間の間に起こった災害は、阪神・淡路大震災、新潟県中越沖地震、東日本大震災などの大規模地震をはじめ、局地的な集中豪雨、相次いで上陸する台風、突発的に発生する竜巻、記録的な大雪、災害級の猛暑といった自然災害の他にも、埼玉県での物流倉庫火災、新潟県糸魚川市駅北大火など消火活動に何日も要するような大火が全国で発生いたしました。本県においても東日本大震災、つくば市での竜巻、関東・東北豪雨等の自然災害や火災により尊い命が犠牲になると

もに甚大な被害が発生し、また、平成十一年の東海村ウラン加工施設でのジェー・シー・オー事故のような想像しがたい事故もあり、風評被害による経済的な損失も大きなものとなりました。

このように、いつ発生するか予測のつかない災害から被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要であり、そのためには、消防団が中核的な役割を果たしながら、住民や企業・団体などが一層連携し、地域の総力を結集して地域防災力の充実強化を目指す必要があります。

本協会といたしましても、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の『安全・安心の確保』のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。



新年のご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

なお、消防団員が減少を続けている中で、地域防災力の要である消防団員の確保のため、大規模災害団員制度及び機能別消防団員制度の導入や消防団協力事業所表示制度の活用に加え、消防団員応援の店の取り組みなど各消防団長さんをはじめ関係者の皆様にご努力いただいております。特に女性消防団員の入団促進につきましては、県内四十四消防団中四十三団を数え全国でも高い組織率（九八％）であり、改めまして皆様方のご尽力に厚くお礼申し上げますとともに、心新たに「安全な地域づくり」のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方とご家族様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。

新年の始まりにあたり、少子高齢化や第4次産業革命、グローバル化など、日本を取り巻く環境が激変する中で、まさに今、本県は将来を決める大きな歴史の転換点にいるとの思いを強くしています。

厳しい競争に打ち勝ち、生き残り、将来

来に向かって本県をさらに飛躍させるため、昨年末策定した県総合計画の基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、果敢に挑戦してまいります。

未来に希望の持てる「新しい茨城」の実現には、本県が日本だけでなく、世界

からも注目される、ワクワクするような期待感のある県となることが重要です。戦略的な企業誘致による質の高い雇用の確保や儲かる農業の実現、国内外からの観光誘客、さらには宇宙ビジネスの振興など、新たな取組にも力を注ぎ、若者が集まる、夢や希望に溢れる県をつくってまいります。

また、医師確保をはじめとした県民の命を守る医療・福祉の充実や人生百年時代を見据えた健康づくり、災害に強い県土づくりなど、県民生活の基本となる安心安全な生活基盤を一層充実してまいります。

あわせて、これからの茨城を創る大切な子どもたちが、得意なものをさらに伸ばし、グローバル社会で活躍できるように教育環境の整備に努めるとともに、日本一子どもを産み育てやすい県を目指してまいります。

この挑戦には、行政だけでなく、本県に関わる全ての皆様と県政の方向性を共有し、それぞれが「自分のこと」として考え、行動していただくことも必要です。

本年は、茨城国体・全国障害者スポーツ大会やG20貿易・デジタル経済大臣会合など、国内外に本県の魅力を発信する機会が控えております。

これらも契機にしながら、県民の皆様と一丸となって着実に歩みを進め、活力ある新しい茨城づくりに「猛進」してまいりますと考えておりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

# 平成三十一年 消防出初式

新春を飾る消防出初式が1月5日から14日までの土・日・祝日の5日間に県内各地で挙行されました。式典において永年のご功績が認められ表彰を受けられました皆様方に心からお祝い申し上げます。

また、事前準備や当日寒い中対応されました関係者の皆様方、大変お疲れ様でした。

1月12日(土)に挙行されました常陸太田市消防出初式の様子を写真にて紹介します。



消防団員整列



車両パレード



表彰式



女性消防団員行進



# 平成三十一年度 支部別消防 懇談会 防を団長等 開催

恒例の支部別消防団長等懇談会が、昨年十二月に県南北部支部、年明け一月から残る五支部で順次開催されました。出席者は、消防団長をはじめ消防長、消防主任並びに県から消防安全課長、消防学校長及び同職員、協会事務局です。

### (開催日程)

- 県南北部支部 五市  
平成三十年十二月十七日  
石岡市消防本部
- 県北支部 九市町村  
平成三十一年一月十八日  
ひたちなか・東海広域消防本部
- 県南南部支部 九市町村  
平成三十一年一月二十五日  
利根町役場
- 県西支部 十市町  
平成三十一年二月一日  
五霞ふれあいセンター
- 県央支部 六市町  
平成三十一年二月八日  
コミュニティセンター城里
- 鹿行支部 五市  
平成三十一年二月十五日  
銚田市旭総合支所

### 議題

- (一) 大規模災害団員や機能別団員の積極的な導入について
- (二) 道路交通法改正に伴う消防団活動への影響(準中型免許関連)について
- (三) 住宅用火災警報器の設置率について
- (四) 平成三十一年度消防学校教育訓練計画(案)の概要
- (五) 平成三十一年度消防団長研修会について
- (六) 平成三十一年度消防ポンプ操法競技大会の日程について
- (七) 平成三十一年度理事研修会について
- (八) 日本消防協会の火災共済及び個人年金等



県南北部支部での葉梨会長あいさつ

## 日本消防協会主催 消防団幹部特別研修

懇談会は、消防安全課から議題(一)「大規模災害団員や機能別団員の積極的な導入について」から(三)「住宅用火災警報器の設置率について」、県立消防学校から(四)「消防学校の教育訓練計画(案)」、消防協会から、(五)「平成三十一年度消防団長研修会」から(八)「日本消防協会の火災共済及び個人年金等」についての説明がありました。

日本消防協会主催による第四十五回消防団幹部特別研修が実施され、本県からは常陸太田市消防団の佐藤信照副団長が参加されました。ここに、佐藤副団長からの寄稿文をご紹介します。

### 第四十五回消防団幹部特別研修に参加して



常陸太田市消防団

副団長 佐藤 信照

平成三十一年一月十五日(火)から十八日(金)までの四日間の日程で、日本消防会館において、四十七都道府県より団長二十二名、副団長二十五名参加のもと消防団員幹部特別研修が行われました。

研修のお話をいただいた時に茨城県の代表ということで、多少の迷いはありましたが、消防団員人生のなかで東京都の中心地で研修を受けられる機会は二度とないと思い、参加させていただきました。研修は開講式から始まり、記念撮影や会長講話などが行われ、あっという間に一日目が終了し、二日目は各講師による講義や視察研修、消防団活動事例などの実体験も聞くことができ、とても有意義な研修でした。

その中でも特に印象に残っている研修が、事前に与えられたテーマに沿ってレポートを提出し、そのテーマについて討論する時間でした。討論は六つの班に分かれ、私の班の課題は消防団員の確保対策についてでした。この課題は私の所属する消防団においても喫緊の課題で、他県ではどういった対策を講じているのか、効果的な対策はあるのかを班内で様々な観点から話し合いました。

結論としては、この課題は私の所属する消防団だけの話ではなく、全国の消防団が抱える問題点であることがわかりました。また、ある消防団では全く消防団活動に参加しない団員がおり、どう対処すべきか悩んでいる副団長もおりました。残念ながら地域の実情などによって、有効かつ効果的な打開策は見いだせませんでした。したが、この問題を共有し、書面や電話などでもなく、直接話せたことがとても良い経験になりました。今回参加させていただいた研修の講義や経験が、私にとっては、想像以上に有意義で価値のあるものでありました。この研修で学んだことを多くの所属する団員に伝え、今後の災害活動に活かしていきたいと思っております。

最後にこのたびの研修を企画していただいた、日本消防協会の皆様、また参加に際し、お世話になりました茨城県消防協会の皆様に対して、この研修に参加させていただいたことを心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



日本消防協会から交付された車両の伝達式が平成三十年十二月二十六日(水)に消防学校において行われました。日本消防協会が行っている「消防団員等福祉共済の福祉増進事業」の一環として交付されたものです。

○交付団体  
結城市消防団  
下妻市消防団

○交付車両  
スバルフォレスター  
4WD・AT車

伝達式は、飛田消防学校長の立ち会いの下に葉梨会長から廣江団長、高橋団長へそれぞれの車両のレプリカキーによる贈呈が行われ、会長あいさつ、廣江団長、高橋団長の謝辞と続き、最後に記念撮影を行い終了しました。  
寒い中早朝よりお集まりいただきありがとうございました。



左から廣江団長、葉梨会長、高橋団長、飛田校長、大高専務

ドローン&  
オフロードバイク訓練

消防庁から無償貸付された資機材による訓練が消防学校において行われました。今回無償貸付された資機材は次のとおりです。

- ドローン 実機一機、練習機三機
- オフロードバイク 二台

ホンダCRF250L

研修は、平成三十年十二月二十六日(水)にドローンの訓練が行われ、平成三十一年一月二十一日(月)にオフロードバイクの訓練が行われました。両日とも消防庁の委託業者によるインストラクターから座学と実技指導が行われました。



ドローン操作

今回の訓練は消防学校でも初めての訓練であり、参加者は真剣に取り組んでいました。  
今後は、消防学校講師による消防団員訓練等に活用されることを期待します。



↑ オフロードバイク訓練 ↓



**オリジナルTシャツ**  
**アポロキャップ**  
**徽章類**  
**消防グッズ各種**

茨城県マスコット ハッスル黄門  
ハッスル黄門 ストラップ取扱店

**水戸スポーツ株式会社**

水戸市袴塚1-1-2  
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

■県防災情報ネットワークシステム  
■高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線

Orchestrating a brighter world

**NEC**

日本電気株式会社  
茨城支店

〒310-0011 水戸市三の丸1-1-25(水戸駅前ビル)  
TEL 029-226-1717 FAX 029-226-1685

全国シェアNo.1の消防車メーカー  
**(株)モリタの各種消防自動車**  
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目  
小型動力消防ポンプ・消防用ホース  
救助資機材・潜水機材・消防用被服  
防災用品・消防用品・消防資機材

**有限会社 鈴機**  
茨城県代理店

〒315-0014 石岡市国府5-2-25  
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

**Panasonic**

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**

本社 茨310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614(代表)  
FAX.029-224-4613  
千波営業所 茨310-0851 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL.029-241-3636(代表)  
FAX.029-244-0540  
土浦営業所 茨300-0061 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498(代表)  
FAX.029-822-6575

**トーハツ** 小型消防ポンプ  
充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**  
水戸市三の丸3丁目7番1号  
TEL.029(224)3324代 FAX.029(224)3360

《編集後記》遅くなりましたが、今年もよろしくお願ひします。ドローン操作を視察させてもらいましたが、技術の進歩に昭和生まれは驚くばかりです。(こ)